

## 新北九州市立八幡病院基本構想（素案）の策定について

### ○ 策定の経緯

市立八幡病院は、本市の救急医療、小児救急医療の拠点として、市民の安全・安心を支える医療を提供するとともに、地域の基幹病院としての役割を果たし、公立病院として、本市の地域医療に貢献しています。

一方で、施設の老朽化・狭隘化や一部が新耐震基準を満たしていないといった施設面の課題があることから、建替えを検討すべき時期にきていました。

そのため、第2夜間・休日急患センターを分離（平成25年5月にコムシティへ移転）した後の市立八幡病院に求められる機能について、医療関係者等から構成する「北九州市西部地区の医療提供体制のあり方に関する検討会」の議論も参考にした機能面からの検討、さらには、病院事業の経営見通しといった面からも検討を行った結果、昨年8月に、建替えに向けて取組みに着手することとしました。

また、昨年11月に、市立八幡病院に求められる政策医療を担っていくために、現在地の近傍で本市の中心部に位置し、交通の利便性に優れている「尾倉小学校跡地」を建設予定地に選定しました。

さらには、新病院の基本的な考え方等を示した基本構想を検討するために、医療関係者、関係局、八幡病院の医師から構成されるプロジェクトチームを設置し、4回にわたり議論を行ってきました。

今回、プロジェクトチームでの議論の中でいただいた意見を踏まえ、「新北九州市立八幡病院基本構想（素案）」をまとめました。今後は、この基本構想に基づき、部門別の計画や施設の整備等を具体化した基本計画を策定するなど、移転建替えに向けて着実に取組みを進めていきます。